

Ai愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL http://www.airoren.gr.jp
発行人 吉良 多喜夫
第210号 2011年1月10日

第32回トヨタ総行動

とき 2月11日(金)
12:30 ~ 決起集会開会
ところ 豊田市・山之手公園

今年もよろしくお祈いします



どい敏彦さんとともに

“くらし”最優先の愛知県政
名古屋市政実現へ



革新市政の会から名古屋市長選(2月6日投票)候補者として擁立された八田ひろ子さんとどい敏彦さん

厚労省によると大卒者の就職内定率は57・6%(2010年10月現在)。運良く就職した職場ですが長時間労働や上司・同僚からのパワハラ・セクハラで心身ともに疲れはてて愛労連労働相談センターに相談する若者が増えています。

1999年に労働者派遣法が施行されて以降、労働者の雇用破壊がすすみ、ワーキングプア(働く貧困層)が社会問題となりました。若者が未来に希望も夢も見られない状況は08年のリーマンショック後、大量の派遣切りがおこなわれて“派遣村”が出現したところでピークをむかえます。

その後、「政治を変えたい」という国民の強い願いから誕生した民主党政権は公約を守るどころか、国民の期待を裏切り続けています。

県民の意思が問われる

こうした状況の中、おこなわれる愛知県知事選挙は「いのちくらしを守る県政への転換」にむけて県民の意思が問われる選挙であり、若者の未来を守る選挙でもあります。

12月4日に革新市政の会から県知事候補者として県政革新に挑む医師のどい敏彦さんは昨年「若者の雇用を守る愛知県政」として県内各地で訴え、支持を広げています。

若者が生き生きとくらする愛知へ

「雇用の確保は政治の責任」とどい敏彦さんは訴えます。不安定雇用が広がり、夢も希望も見いだせない未来から、若者が生き生きとくらする愛知へ。どい敏彦さんとともに県政の転換をめざしましょう。

若者の未来を守れ

こらむ

しゅんしゅんと湯が沸く。陶や木の器で温もりを感じて食する。「和の心」だいま日本では、瞬間湯沸かし、急速冷凍が主流だ。何とも機械的な言葉だ。振りかえってみると20世紀の日本は、瞬間湯沸かしの時代だった。日清・日露、第1次大戦を経て大日本帝国は、世界の列強国を自賛し、中国や朝鮮半島への侵略を行なった。言葉や文化を含めて力で植民地化したヨーロッパ諸国の植民地だった国々は、独立後長期に渡り盟主国に「うらみつらみ」を持つてるところは少ない。文化までは踏みこじられなかったからだ。日本の植民地政策は、日韓併合、満州建国、中国侵略と無謀な形で行われた。大戦後、アジアの多くの国が独立したが、日本への「うらみつらみ」は65年たった今も、現地には漂っている。瞬間湯沸かしの影響だ。植民地化された経験がない日本だが、戦後65年たった今、米の植民地となつていっているのでは...と感じている人は多い。世界もそのようにみている。沖縄の現実が象徴だ。植民地化されていても、そう言えない日本の政府が恐い。瞬間的な優越感が打ち砕かれ、急激な劣等感に陥つたままなのである。「しゅんしゅんと沸いた」鉄びんの湯でお茶をたて、ししおどしの音に空気の流れを感じる。「和の心」を取り戻したい。(K・T)

賃上げ・雇用確保で、内需主導の景気回復を

2011 国民春闘

民主党政権は次々と悪政推進 消費増税・TPP、地域主権 共同広げ、要求実現、くらしを守る政治へ



11春闘をともにたたかう決意で「団結がんばろう」をする代議員のみなさん = 2010年12月19日

12月19日 蒲郡労働第一をおこないました。社会館で開催した愛労連第44回臨時大会では、11春闘をすべての組織・組合員の参加でたたかいく意思を国際的にみて日本だけが

基地のない沖縄をめざし がんばります！

年金者組合 清洲支部 大長芳雄さん



昨年名護市長選挙と沖縄県知事選挙の応援に行きました。沖縄では大多数の県民の意向を無視して米軍再編計画のため、辺野古の新基地建設や東村高江のヘリパッド建設等が強行されようとしています。これに強く反対し、沖縄の美ら海と豊かな自然を守ることは、生物多様性の面からも県民の平和なくらしの面からも、とても大切だと考えます。いや、単に沖縄だけの問題ではなく、日本と世界の平和と未来に関わるのだと思います。私は本年も粘り強く、基地のない沖縄を目指してがんばるつもりです。



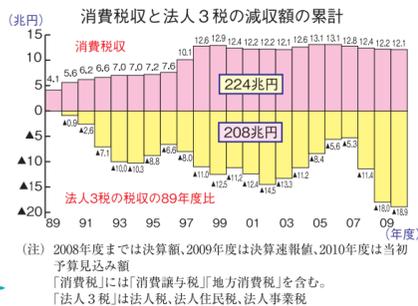
住宅街の真ん中に広がる普天間基地(宜野湾市HPより)

大金持ち優遇の「税制改正大綱案」は改善課題多い

愛知国公 全国税愛知支部 牧野 浩さん



平成23年度税制改正大綱(案)が12月16日に答申されました。課税ベースの拡大を伴わない法人税率5%引き下げ及び金融証券税制の10%の軽減税率(20%本則税率)の2年間延長など内部留保を溜め込んでいる黒字大企業や大金持ち・資産家を優遇する不公平税制の拡大・継続を懸念し先ず行おうとしています。勤労所得軽減、不労所得重課の応能負担原則を徹底し、所得税の超過累進税率の復活をはじめとする所得の再分配機能の強化こそが必要なのに、この大綱は将来の逆進性の強い消費税増税を前提としており、改善すべき課題が多いです。



消費税込と法人3税の減収額の累計 (注) 2008年度までは決算額、2009年度は決算速報値、2010年度は当初予算見込み額 「消費税込」は「消費増税」と「地方消費税」を含む。「法人3税」は法人税、法人住民税、法人事業税



最賃引上げや労働者派遣法抜本改正などに全力

全労連・全国一般愛知地方本部 志水八郎さん



愛労連の最低生計費調査で月額223,539円(時給1,286円)が必要との結果がでました。一方、愛知の最賃は月額131,120円(時給745円)で、541円もの大きな差があります。全労連・全国一般愛知は、中小零細企業に働く労働者や派遣労働者が多く、最低生計費以下で働く人がいっぱいいます。

また、民事法務協会や岩田清掃など公契約職場では競争入札により、契約単価が次々と切り下げられ、雇用不安と最賃に近い賃金の引下げが進んでいます。2011年も最賃引上げと中小企業支援・振興及び公契約法・条例制定、労働者派遣法の抜本改正と均等待遇に向けて組織一丸となって頑張る決意です。

賃上げになっており、このことがデフレ不況を深刻にしています。財界シンクタンクのなかから「賃上げの必要性」が強調されるなど、労働者・労働組合の賃金闘争は国民的大義をもつ運動です。最低賃金は平均730円。国際的にみても最下位です。愛労連の「最低生計費」調査の結果では時間給換算で1286円となりまして、職場・地域で確信を

雇用問題・就職難解決へ 地域経済の衰退は深刻さを増し、雇用にも大きな影響をあたえています。社会保障制度のあいつく改善と消費増税など、民主党政権のもとでくらし破壊が進行されようとしています。愛労連は、地域・くらしを守る春闘と県知事選・名古屋市長選の勝利をめざし、引き続き要求実現の運動にたかって奮闘します。

地域主権反対！憲法が生きる仕事・自治体づくりを共同で

自治労連 名古屋市職労 酒井文子さん



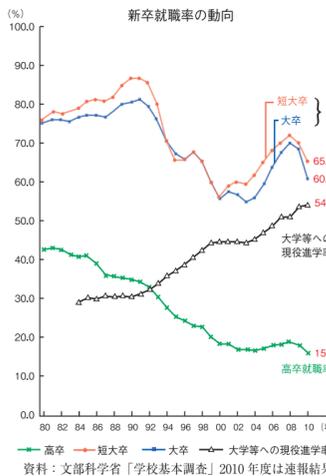
国は社会保障・福祉・教育など国民の基本的な人権の最低保障を放棄し、地方に責任も財源の確保も丸投げ、これが政府の狙う地域主権。政府は、地方のことは地方が決め、実施するといいますが、財源もない地方自治体では、住民の選択と負担が必要となる。サービスの低下も住民の選択といえます。今以上の公務・公共サービスの市場化が進められ、住民にはいっそうの困難がもたらされます。自分たちの職務経験を生かし、住民と話し合い、憲法が生きる仕事・自治体作りをともにすすめていきましょう。

医療・介護労働者と患者さんの命を守るために

愛知県医労連 林 信悟さん



昨年、医師・看護師・介護職員の大幅増員と、過酷な夜勤労働の改善で、患者さんと、医療・介護労働者の命を守ろうと取り組んだ「いのちまもる全国縦断キャラバン行動」は、国民の賛同と支持が広がり、政党内に看護議員連盟が発足、組織の拡大も前進させてきました。この春は、過労死の温床である看護師などの不規則な交替制勤務と長時間夜勤労働の改善で、医療・介護労働者と、患者さんの命が、ともに守られる愛知県政を目指すとともに、愛知県医労連結成50周年を組織最高の峰に到達させる決意です。



新卒就職率の動向 (資料：文部科学省「学校基本調査」2010年度は速報結果)

地域経済の活性化、雇用拡大で 県民のくらしを守る県政への転換を



議長 樽松 佐一

年末に中小企業団体を回りました。どこでもとにかく仕事をほしい」と言われ、ある事務は住宅リフォームだけは全地域でやっています。景気回復の基調が今後個人消費の回復と中小企業の利益確保が課題とされています。11春闘の重点課題である、雇用拡大に力をつけて、中小企業の支援は緊急です。

県知事選挙には土井さん以外に4人が名乗りをあげていますが、それぞれに「日本」「世界」と「世界制覇」「世界に」を掲げています。日本人は高く買えない。元日のNHKでは中国人の富裕層をターゲットにするリンゴを若い女性が買ってました。土井さん以外は全員が「農業にも競争が必要」とTPPに賛成。ほんの一部の個人消費の拡大で景気回復の力になります。大切なのは県民のくらし。景気回復の力になります。大切なのは県民のくらし。景気回復の力になります。

『子ども・子育て新システム』の制度案がこの3月の通常国会で審議される予定です。この制度は、国や自治体の保育責任をなくし、子ども・保育を金儲けの道具にしようとする、福祉切り捨て政策の最後の仕上げです。もちろん、多くの団体・関係者などが「福祉・保育の切り捨ては許さない！」と反対運動を展開しています。2010年12月18日は全国各地で反対集会が行われ、愛知では、2000人以上の人が参加しました。今年が正念場です。今こそ多くの人と連帯し、保育・福祉全般を守り、発展させていきましょう！

保育の新システムに反対し 保育・福祉を守る

福祉保育労 東海地方本部 栄エリカさん



保育を守るクリスマスアピール = 2010年12月18日(白川公園)

若者の雇用・就職保障のために奮闘

愛高教 熊澤知加夫さん



高校生・大学生を含んだ若者の雇用状況がきわめて深刻です。女子生徒の就職はとくに厳しく、見通しがまるでたっていません。就職面接さえ受けられずに卒業していくことが危惧されます。国や自治体の支援も広がっていますが、「サービス残業」の根絶、派遣労働の規制強化といった働くルールが根本的に確立されない限り、これまでのような支援には限界があります。愛高教では引き続き、高校生の就職保障のため、関係機関への働きかけなどを求めて労働局や経済団体に申し入れを行っています。

みんなのとりくみ お寄せください

単産・単組や地域でのとりくみを写真(デジタルでも可)と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。詳しくは... 052-871-5433(龍尾)まで E-mail post@airoren.gr.jp



12/12 全労連東海・北陸ブロックが総会を開き、議長は愛労連の樽松議長、事務局は長は新しく吉良事務局長が選出された



12/25 愛労連女性協9条の会総会で全日本民権、議長は愛労連の樽松議長、事務局は長は新しく吉良事務局長が選出された



12/26 学生や青年の雇用を考えるシンポジウムで若者の失業率の高さや高校生の就職の厳しさなど現場の実態を聞いた



2011年初夢 画 高木 徹

Topics

